

	<p>第277号 2012年 5月 1日 発行 富山市内幸町3-22菅谷ビル4階 新日本スポーツ連盟 富山県連盟 電話 & FAX 076-441-0541 発行 猪俣 林 憲彰</p>
--	--

パークゴルフクラブ結成に向けて準備進む

県連盟では昨年から数回にわたって交流会やコンペを行ってきました。
 この度、参加者の皆さんと相談し、クラブを作ろうということになりました。
 5月度の月例会の後、結成の総会を開く準備を進めています。



パークゴルフ5月度 コンペのお知らせ

期 日 5月16日(水)

コース 富山市 神通川水辺プラザのパークゴルフ場(右の地図を参照)
 しらさぎコース

集合・開始時刻 「自然ふれあい学習館」集合。

午後1時30分、組み合わせ抽選、その後直ちにスタートします。

(出来るだけ事前に参加申し込みをお願いします)

参加費 500円(プレー代は無料です)

参加者が6名に満たない場合は「交流会」とし、参加費は頂きません

表彰 1位から3位まで表彰します。

その他 用具は借りることが出来ませんので、お持ちでない方は事前に申し出てください。

過去の交流会や大会で優勝した方は、マイナスのハンディキャップがあります。



4月度交流会参加の皆さん

4月度 パークゴルフ交流会

	林憲彦	木谷鐵太郎	関井邦子	市川晃	法土武雄
スコアー	65	65	70	68	68
HC	-2	-2	-2		
グロス	63	63	68	68	68

参加者が6名に満たなかったため、交流会としました。今回の成績は以降のコンペのハンディの対象にはなりません

Peace Run 2012 (反核平和マラソン)

核兵器廃絶・放射能をまき散らす原発No!!

第18回反核平和マラソン in とやま

詳細は6月号で
お知らせします

6月16日(土)

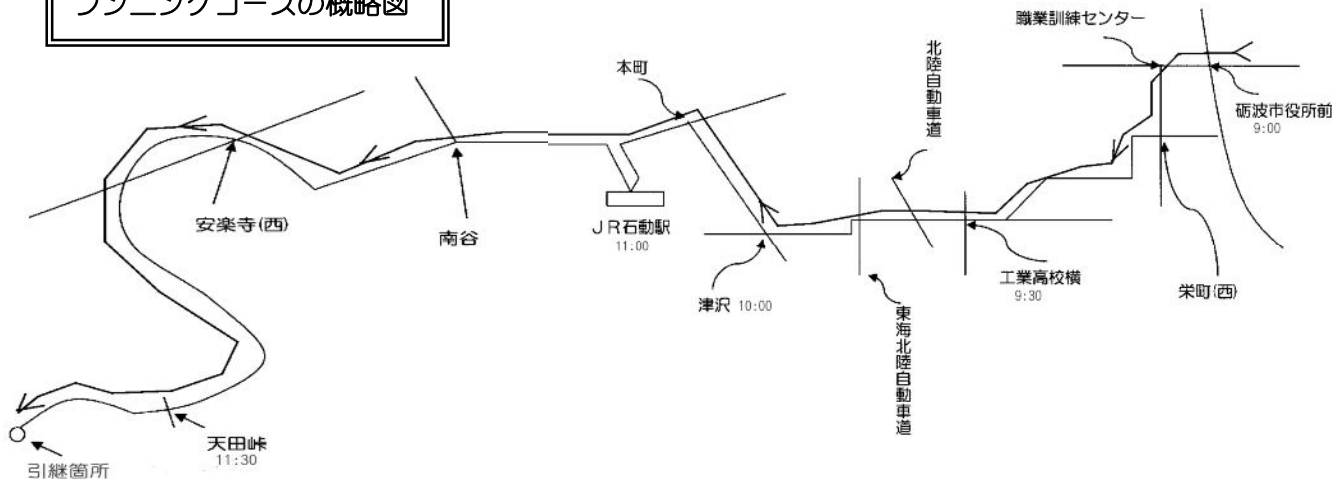
砺波市(市役所)～小矢部市～天田峠～石川県への引継地点まで、約22Kmを、休憩や・給水を取りながら走ります。

※ 参加申込は2日前まで、出来ればFAXで青山さんまで。076-422-2852(電話も同じ)

主催：新日本スポーツ連盟 富山県連盟

主管：雷鳥ランニングクラブ

ランニングコースの概略図



反核平和マラソンのランナー/給水・搬送のボランティア募

集

ランナーは1Kmでも2Kmでも走れる人ならOK



ボランティアは誰でも



富山オープン ペアマッチ卓球大会

主催：新日本スポーツ連盟全国卓球協議会

卓球大好きなみなさん!

私たちスポーツ連盟は、スポーツを生活の中に根づかせ誰もがスポーツができるようにすることをめざし、「スポーツ、君が主人公」の立場で愛好者の要望に沿った様々な卓球大会を開催してきました。

今回、開催するペアマッチ大会(2人でシングルスとダブルスが楽しめる)はそのことを象徴的に示している競技大会です。各地でも好評です。

是非、周りの方をお誘い合わせてご参加ください。



大会要項

期 目 2012年5月20日(日) 9時開場・9時半競技開始
会 場 高岡市・竹平記念体育館(JR高岡駅よりバスで10分)
〒923-0957 富山県高岡市早川222-1 Tel 0766-26-6001
競技種目 ペアマッチ・男子の部、女子の部 (2~3人で編成、各試合は2人で行う)

競技方法 1、試合順序は①番ダブルス、②番シングルス、③シングルスです。
2、各クラス/3~4リーグ予選・同順位トーナメント方式
※各クラス少ない場合は、併合しておこないます。
3、予選リーグは3番まで行い、トーナメントは2点先取とします。

使用球 TSPホワイトボール

表 彰 各1位トーナメント3位まで。2、3位トーナメントは優勝ペアのみ表彰します。

定 員 60ペア(定員を超えた場合は、先着順とします。)

参加費 1ペア 2000円(加盟登録者、高校生以下のペア1600円)

申込方法 申込書は 〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2 大住ビル401

新日本スポーツ連盟富山オープンペアマッチ卓球大会宛 (FAXでも可)

参加費は郵便振替で

口座番号	00100-7-67057
口座名義	新日本スポーツ連盟全国卓球協議会

振替用紙の通信欄にクラブ名、代表者名、大会名、参加費の明細を記

入のこと。

申込〆切 5月2日(水) 必着

問合せ先 Tel 03-5992-1105 FAX 03-3981-8315



スポーツ連盟事務所 AM10時～PM5時30分

新日本スポーツ連盟全国卓球協議会 北川まで

推薦他 1, 本大会の富山県ペア1位の選手を11月24日、25日（一般の部－青森・マエダアリーナ）、12月15日16日（年代別の部－岡山県・桃太郎アリーナ）に開催される第29回全国スポーツ祭典卓球大会へ推薦いたします。



新日本スポーツ連盟第30回全国総会に参加して（下）

スポーツ連盟とやま 副理事長 荒井英治

4月号で新日本スポーツ連盟の全国総会の報告につづいて、今月号では富山県連盟の問題点とそれについての対策について思うことを書いてみます。

富山県連盟が抱える問題点

1 連盟員の減少：過去15年間の富山県連盟の連盟員総数と加盟団体数の増減推移を見ると、1996年には連盟員が322人、加盟団体数が7団体であったものが、2011年には234人、5団体となっていて、連盟員数も団体数も3割近く減少しています。

個々の団体についてみれば、会員が増えているクラブもあれば、年々、会員減っているクラブもあって様々です。

2 県連盟の年齢構成の高年齢化：若年層の加入が無いため段々とクラブの平均年齢が上がってきています。

3 県連盟の活動力の低下：この15年間の県連盟理事として関ってきた中で、残念なのは水泳のクラブが4つあったのがクラブ解散や連盟からの脱退により無くなってしまったことです。その大きな原因は水泳の部門で中心的役割を果たす人材が欠けていたことと、水泳クラブ間の交流が少なくなっていて仲間意識が薄れていったことにあります。

その時々で、県連盟執行部が真剣に対応していれば水泳クラブは今も存続していたと思います。連盟員が交流する行事が途絶えていることも県連盟の活動力が低下している現れです。

上記の問題点に対して次の3つの対応策を提案します。

1 新たなクラブの立ち上げ：健康志向・環境意識の高まり（エコブーム）でウォーキングやジョギング、ハイキング、軽登山、パークゴルフ、サイクリングなどの種目でクラブを作っていく。

そのための中心的人材を見つけ出し、育てていく。

2 今ある加盟クラブをいかに大きくしていくか、また、新たに立ち上げたクラブをいかにして安定的に育て上げていくか、そのために県連盟が持続して助言やバックアップ（助力）していく。

3 理事会の活動においては、長期目標をしっかりと立て、その目標を実現するための個々の行事を着実に実施していく体制をつくる。

